

歐洲戰爭後に於ける物價 貨幣爲替問題の概観

法學博士 河 津 暹

私のお話をしようと思ひますことは、若干只今の色々な問題に關係を有つて居りますことでございますが、三題話のやうな題を掲げまして、甚だ了解になり難いことであると存じますが、詰り近頃に於きましての歐米諸國の金融界の問題がどういふやうに動いて居るかといふことの概要をお話し申上げて見たいと思ふのであります。併しながらなかく問題は複雑でございます。隨て細かく申上げますれば、相當に長く申上げなければならぬかと存じますが、今日極簡單に大體のことを申上げてお許しを願ひたいと思ひます。併しながら事柄が複雑でございますから、簡單に申上げること御了解になることが出来るや否や其邊の所は、甚だ分り兼ねますけれども、自分が出来るだけの程度に於きまして、極簡單に、問題の經緯を申上げて見たいと思ひます。

第一に申上げなければなりませんことは、歐羅巴戰爭までは歐米諸國に於きましては、御承知の通

り貨幣制度の本、即ち本位制度と致しまして、先づ大体金を使つて居りました、所謂金本位制度を取つて居りました。英吉利を始めと致しまして獨逸に致しました所で、北米合衆國に致した所で、其他主なる國は——我國もさうであります、金を貨幣の本に致して居りました。又國の事情が金を貨幣の本にすることを出来ないものであります、例へば墨西哥の如き、印度の如き、此等の金を本に致して居りまする金本位の國と色々な点に於きまして關係の深い國は所謂金爲替本位といふを行はして居るのであります。金爲替本位といふことは詰り國內に於きましては、例へば銀を貨幣の本に致して置きましたも、國際間の色々な貿易や何かに於きましては金を使ふ、平たく申しますればさういふことですが、金を以て貿易等を行ふといふとをやらして居るのであります。それで支那の如きは御承知の通り日本からも亦北米合衆國からも矢張り金爲替本位になつて貰ひたいものであるといふことを再三忠告を致し勸誘を致し、亞米利加の如きは餘程前の話であります、ゼンクスなどといふ人を遣しまして、さうして勸誘を致したこともある程です。併しながら色々な事情の下に其事を聽かなかつたのであります、斯ういふやうな若干の國は、此金から離れた貨幣制度を持つて居りましたのであります、此金本位制度を多くの國が有つて居ります間は、兎に角經濟社會は安定を致して居つたものである、別に今日あるやうな爲替の非常な激動といふやうなものもございませぬし、又物價の激變といふやうなもの

もございませぬし、有らゆる方面に於て經濟社會は先づ安定を致して居つた状態であつたのであります。尤も金を中心と致して居りますものでありますから金の産出額には關係があります。金の産出額は近頃に於て、殊に西曆千九百八年頃から致しまして大分殖えて居ります。隨て他の事情が同じで、金の産出額が殖えて行くといふことになりましたれば貨幣の價は下る傾向を有つ譯であります。隨て物價は幾らか上る氣味であるといふことを申上げますことが出来るのであります。隨て物價が幾らか上り氣味でありました時には、極大雜把な話でございますが、さうすれば經濟界は景氣が幾らか宜いのでありますから、其点に於きまして甚だ工合が宜いのであります。又利子歩合の如きものも、金の價が廉くなつて行くのでありますから、幾らか下落しつゝある傾向を有つて居るのであります。それで英吉利や何かになりますれば大分利子歩合は廉くなつて行つて居るのであります。是も利子歩合がどの位廉くなつて居るといふことを決めることは、なか／＼むづかしいのであります。長期の貸付を致します場合と、極短い貸付を致しまする場合、又抵當の具合等に依りまして皆違ふのでありますから、一様には申上げますことが出来ませぬが、幾らか長い貸付といふやうなものに對しましては、先づ戰前に於ては四分五厘前後のものであるといはれて居た。のみならず此千九百年の時に紐育などの保險會社の方々の國に手紙を出しまして、今後利子歩合といふものは上るであらうか下るであらうかといふこと

問を、歐米諸國の有力なる金融業者等に問合せたところがあるのであります。ところがその答は何れも下落をするのだといふことの答を得て居るのです。それは何れに致しました所で、數字なにかも持つて参りましたのであります。利子歩合は下りつゝある、隨て利子歩合が幾らか下るといふことになつて参りますれば事業を經營いたします者からいひますれば工合は宜いのでありますから、其点から見ましても經濟界甚だ無事平穩であるといふことが出来るのであります。さういふやうな状態にありました所が、御承知の通り歐羅巴戰爭が勃發いたしました、さうして今まで金の本位制度を有つて居つた所の國が金を本位制度として行くことが出来なくなつてしまつた、隨て金本位制度を廢せざるを得ないといふことになりましたのであります。それでありますから例へば獨逸の如きものは、戰さになりますと直に、千九百十四年の八月四日の時に法律を出しまして、不換紙幣の國になる、即ち今まで出して居る所の所謂獨逸帝國銀行、ライヒスバンクの銀行券といふものは、自今兌換の義務を負はないものであるといふやうなことを定めました。又他の國に於ても英吉利は別であります、逆も金本位制度を維持するといふことは出来なくなつてしまつたのであります。それはどうふ譯で維持することが出来なくなつたかと申しますと、兎に角戰さをするのに色々な外國からして品物等を買込まなければなりません、兵糧に於きましても或は兵器彈藥其他の物なにかに於ても買入れなければなりません。買入れるの

には勿論戦さになつてからのことをござりますから、到底紙幣——紙片では如何ともすることか出来ませぬ。隨て金を使はなければなりません。さうしまするといふと、是は少しの額ではございませぬ、非常な額でございするから、佛蘭西なにかの例に致して見ても、先づ銀行が持つて居る所の金を借入れて、それで之を以て此色々な兵器彈藥等を買入れるといふことに使ひます。又同時に財政を巧く動かして行く爲に公債を出します。而も其公債はどうせ外國に備へをする爲に出しますのでありますから、即ち紙片では如何ともすることは出来ない。それでありするから、此点から致しましても銀行の持つて居る所の金を政府に、形は違ひますが借上げることになるのであります。さういふやうな次第であつて、即ち銀行が丁度其正貨準備として、金を持つてそれで銀行券を發行して居つた所が、その土台になつて居る所のものを今の戦争の爲めといひますか、或は財政の爲めと申しますか、政府の方に取上げられるといふことになりする譯でありましたから、金の本位制度といふものを結局維持することが出来ない、銀行の方からいひますれば、何時でも持つて入らつしやい、それを金に換へて上げるといふ此兌換制度を維持することが出来なくなつてしまつたのであります。所で先づ其金融市場の中心であります英吉利の如きものに於きましては、是は流石に金融市場の中心でござりするだけであつて、それであの辛うじて戦争中に於て、兌換を停止するといふことはしなかつたのでありましたけれど

も、併しながら色々命令等を發して成るだけ兌換をしないやうにさせて居つたので、言葉を換へて申せば色々な手心を加へて居つた譯であります。斯ういふやうな次第であつて細かいことはそれで省略しますが、諸國は金本位制度を捨て、しまつた、即ち金といふものから縁を離してしまつた。其結果如何様なことが起りますかといふと、世界の金融市場は滅茶滅茶になつてしまつた。其金が土台で色々な形、色々な制度になつて居りますから一々申上げますことは五月蠅うございますが、兎に角金があれば金に向つて若干繼足して通貨を出して居るといふことにすれば、そんなに通貨の膨脹をさせようと思ひました所で、膨脹させることが出来るものではござりませぬ。又させないが爲に色々な制限も設けてあるのです。ところが一旦金貨を離してしまつてどうでも宜いといふことに致しまするといふと其結果は如何様になるかと申しますると、申上げるまでもないと思ひますが、財政の窮乏を救ふが爲に、何處までも益々通貨を膨脹して行くといふことが起つて參りました。原因は細かく申しますれば、少しづつは違ひますが、大体からいへば其通貨——貨幣を増加いたしました。丁度此處に持て參りましたが千九百十九年丁度戰爭が終りました時に於て調べたものであります。ブラッセルの萬國財政會議の報告書に従ひまして、戰爭中にどの位に通貨が膨脹したかといふことを簡単に申上げて見ますと、方々の國の數はありますが、それは五月蠅うございますから省畧しますが、先づ大体北米合衆國、南米諸國

英吉利の植民地では通貨の流通額といふものは戦前の前に較べまして五割から十割、即ち倍位まで増加したたのであります。是は大したことでない、又歐羅巴の中立國では戦前に較べて、通貨の増加したものは十割から二十二割半、即ち二倍以上の増加になつて居ります、又葡萄牙、佛蘭西、白耳義、希臘伊大利では戦前に較べて通貨の増加したことは、二十五割から五十五割、五倍以上の増加を見たのであります。其他の交戦國即ち獨逸であるとか露西亞であるとかいふやうな所に於ては八十割即ち八倍似上に出つたのであります。それは戦争の終つた即ち千九百十九年の末尾と千九百十三年の十二月等の通貨の流通額を比較して只今申し上げましたやうな割合になつて居るといふことを申上げることが出来るのであります。さあ斯くの如くに通貨が膨脹して参りまするといふことになり申上げれば、申上げるまでもございませぬ、續いて起るところの結果といふものは物價が非常に高くなつたといふことであります。我國なにかに於ても御承知の通り、即ち四億ばかりの通貨であつたものが、是は戦争中よりも通貨は戦争が終りましたから、増加率が却て殖えて居りますが、十四億位までになりましたのであります。そうなつて参りますれば、物價は必ずしもそれに比例する譯ではございませぬが、三倍位に上りまするといふことは當然のことであります。只今若干廉くなつても我國に於ては戦前に比べれば二倍以上になつて居るのであります。それであるから方々の國に於て此物價も大体に於て同じやうに非常な騰貴を致

して居るのであります。細かいことは止めます。それであるから物價が著しく増加しまして、殆ど戰前なんかとは想像することの出来ないやうな状態になりましたのであります。又是と同時に紙切れの國になつてしまひましたものでありますから、諸國の間の爲替相場といふものが滅茶々々になつてしまひました。爲替と申しますものは大体からいひますれば、一つの國と他の國との爲替の割合と申上げてお考へ下されば間違ひないことであります。日本なら日本の金を以て、亞米利加の弗なら弗を買ふ時に幾らで買へるかといふと、御案内の通り我國なにかにも、問題になつて居ります即ち百圓を持つて行きまするならば前は四十九弗ながしといふものが買へたのであります、それと交換することが出来たのであります。併しながら日本の貨幣の價が此頃は非常に下りまして、百圓持つて參つても四十弗しか買ふことが出来ない、斯ういふ譯でありますから、申上げるまでもなく一つの國の貨幣と他の國の貨幣との割合だとお考へ下されば直しい、併しながら是が總ての國が、金を本体として貨幣が出来て居りまする時代に於きましては、それは外の事情に於て上つたり下つたりは若干しますけれども、貨幣の材料そのものは金でありますから自ら限度がある、甚だ學校らしくなりますけれども所謂正貨の輸送貨、其金から金を此方から向ふに送りまするまでの費用以上には、爲替相場といふものの變化といふものはないのであります。其變化のないものでありますのに、今多くの國が兌換を停止して紙切れ

ばかりでやつて行くといふことになりました。關係から致しまして、さういふような止まるものが無くなつてしまひました。止るものが無くなつてしまひますから、私か申上げるまでもない、爲替相場といふものが滅茶々々になつてしまひました。獨逸の如きものになりますれば御案内の通り爲替相場などいふものは何千何万倍といふやうな殆ど吾々が想像することの出来ないやうな額にまで下落をしてしまふことになつてしまつたのであります、滅茶々々であります。其數も調べて持つて參りましたけれども是も五月蠅うございますから申上げませぬ。殆ど想像することの出来ない程爲替相場といふものが大動搖を來し、滅茶々々になり我國なにかの今の四十九弗のものが、四十弗になつたなどというて、大騒ぎをして居ります、斯んなことは向ふ同士の間には朝飯前の話であります。英吉利と亞米利加の間に於てすらも兩方ながらそんなに困つて居ないのに爲替相場が三分の一位になるといふ有様であります。況や獨逸だとか何とかいふやうなものになりますれば爲替相場は滅茶滅茶であります。

斯うなつて參りました何が何だか分らぬやうに大混乱を來してしまつたのであります。ところで此物價が今申上げたやうに非常に騰貴を致しました結果如何、影響如何と申しますれば私か諄く申上げますまでもない話で、物價が高くなつた所で私共即ち収入なり所得が物價が高くなりまするに準じて同じやうに高くなつて參るものでございましたならば、是は問題は少しもない、それは私が申上げるまでもな

いこと、思ひます。今まで百圓取つて居つた者が物價が倍になつた、之に準じて二百圓取るといふことでありますれば、今まで一圓出して居つたものを二圓出すといふだけの話であつて、私共の生活状態に何等の變化を生ずる理窟はないのであります。併しながら物價が前申上げたやうに、激變を致して参ります時には、さうは参りませぬ。或者は此物價が非常に高くなることに依りまして、非常に儲かる人があります。極端なことをいひますれば日本にも噂のあるやうな成金などといふものを生じます。即ち物價の上る以上に収入が殖えて参れば、さういふことになるので、同じやうに皆物が高くなつて居るのではないと言ふ事に原因するのであります。ところでそれと反對に物の價が高くなるに拘らず、自分の収入所得が上らないものがある、倍になつても、幾らに上つたにした所で、此方がそんなに上らないといふことになれば、詰り上らないといふ時に較べて、収入所得が非常に減じたといふことと同じ譯になる。諄いことを申上げる必要はない。それであるから物價が激變して何故悪い、何處が悪いのだと仰せられれば、それは詰り吾々の財産なり所得の關係が減茶減茶になつてしまつたといふ所が悪い。或者は非常な得をする者があるかと思ふと、或者は非常な損をする者が出て来る。斯ういふことになる。それであるから物價が非常に高くなつて参るといふと色々な變化が起る。殊に茲に一つのことを申上げて見れば、極安全なる資本のインベストの目的物と致して英吉利のコンソル公債などいふもの

を見ても戦前に於ては即ち千九百十四年位の所を一つ取つて見て百と致しますといふと、千九百二十年の相場に致しますといふと、三十四といふことになつて居りますが千九百二十一年に致しますと五十三、千九百二十二年に致して六十二といふことでありますから、極確實なる所の公債なにかを持つて居る人でも前には、それから假に百圓這入つて居つたものとしても、今度はさうは行かないので、半分以下の収入に下つてしまふといふことになるのであります。さういふやうな譯でありますから物價が非常に上りますといふと、何か物を持つて居た人は非常に損をするのです。地面を持つて居つた人は、地面の價が下るし、公債を持つて居つた人は、公債が下るし持つて居るものは皆損をして、さうして色々經濟界に於て仕事をする方の人は、却て……是も色々ありますけれども、得をすることがあります。けれども例へば、労働者などといふ者は物價が上るに連れて賃銀が上りますけれども、何時でも此賃銀の上り方が物價の上る割合には上つて行かないのであります。殊に定額の給料なにかを戴いて居る所の者は、是も物價が非常に上る時には、幾分上つて行く傾向は有りますけれども、是亦さうは上つて行かないのであります。さういふやうな譯でありますから非常に一方に得をする者があると同時に、一方に損をする者を生じて參ります。ところで其金の無い方の仲間なにかになりますれば、一方に於ては物價が非常に高くなり、一方に於ては自分の収入所得といふものが殖えない、或は殖えても少い。斯うい

ふとになるから、生活が非常に困難になつて参るといふのであります、諄いことを申上げる必要はないさうなつて來れば自然思想などいふものが荒びて参り、所謂過激思想などいふものが起つて参るといふことになり、それで經濟社會といふものが不安の雲に鎖されるといふとに、自らなつて参らなければならぬといふことになるのであります、是も分り切つて居る話であります。

又爲替相場がえらい動搖を致すといふことになりますれば、自分の所の爲替相場といふものが變ります。自分の國の貨幣が廉くなりますといふと輸出することが容易くなつて輸入することが困難になります。其点からいひますと自分の國の貨幣の價が下るといふことは、甚だ結構のやうに見えます。之に反して自分の國の貨幣の價が高くなるといふことになれば、輸入が多くなつて輸出が困難になつて参ります。斯ういふやうな譯でありますので、外國貿易なにかを致さうと思つても、自分が算盤を取つて、是位に賣れば、旨く行くだらうと思つてやりました所のこと、やつて居る中に相場が變動をするといふことになれば、自分の豫算——考へて居つた所のこと、皆喰違つてしまふといふことになりまして、甚だ安心して色々なことをやる事が出来ないといふことに自らならざるを得ないのであります。それであるから眞面目には外國と取引なにかはすることが出来ない。是非とも投機的になつて來るから、事實は貿易なにかは出来ないとなつてしまふ。是も單純なる理窟であつて、諄いことを申上げ

る必要はないと存じます。斯の如きは時々證據を提出すれば幾らかの興味がとおりになるかも知れませぬが、時がございませぬから、筋道だけを申上げるだけでお許しを願ひます。

ところでそんなになつて來たら、どうすれば宜いかといふ問題が、是非起つて來なければならぬのです。ところで此物價問題です。其事は是は大体から申しますれば、國內の問題です。それでありながら各國は外國と相談をすることなしに、自分の所で解決の方法を講ずるといふことをしなければならぬ問題であります。又各國——各國と申しましても主なる國でありますが、主なる國は物價騰貴が前申上げましたやうに悪い影響を社會に及ぼすのでございませぬから、一生懸命になつて物價問題を解決しようといふことを盡したのであります。

然らばどういふ方面に向つて、物價問題を解決しようといふかといひますれば、大体から申すと物の方から、此物價問題を解決しようといふ方策も講じなければならませぬと同時に、又貨幣の方から、或は通貨の方からも物價問題を解決しようといふことを努めなければならぬ、物の方からと申しても物を考の中に置きませぬで、唯價格だけを下げるといふことの、又工夫も起つて來る譯であります。で方々の國に於きまして、例へば暴利取締を日本などでも巧くは行きませぬけれども、やりました。此暴利取締などといふことは結局物にも觸れはしないし、或は貨幣にも觸れはしないし、唯價格だけで高

く賣つて儲けたり何かすることはいけないぞといふことで取締をして行かうといふ考です。是が色々なやり方がありますので、唯價格だけをどうか取締をして行かうといふ考にも色々なやり方がありますが、結局旨く行きませぬ。何故行かぬかといふと、其物價の價格が生じて来る本を捉へて居る仕事でないのではありません。それであるから極く極端なものになつて來れば引捕へることが出來て取締ることが出來ますが、併しながら極端にならなければ唯價格だけをどうしようと言つた所で、それは出來るものではないございませぬ。それだから、それではどうしても旨く行かぬといふことに氣が付きましたから、物と通貨と此二つの方で攻込んで行くより外仕方がないといふことに自らなつて參ります。物の方で行かうといふとは、結局どういふことをやれば宜いのかといへば詰り吾々の方の言葉でいへば、成るだけ需要を抑へる、少くする、同時に供給をなすだけ多くする、斯ういふとより外に方法は無い。此需要を少く供給を多くするといふをもつと具体的に申上ますならば、幾多の管理制度、コントロール、是にどうしてもなつて來るのであります。何に使ふそんなものには使はせない、或は輸出をする、輸出なにかはさしてはいかぬ、數が少くなるからいけない、或は足りないものであるならば輸入をしる、斯ういふやうなとで詰り色々な方法に依て國內に於ての改正を多くする、或は國內に於て物を多く拵へさせる、然らざれば國內に於て無暗に物を消費させない、それで數を多くするといふとに依つて、價格の方を引下げて

行かうといふやり方、此方法に譲るか、是と同時に持つて一般的に行かうならば、所謂通貨が前申上げましたやうに非常に多くなつて居るのでありますから、通貨を縮小して掛かるといふとに依る外に方法は無いのであります。此通貨を縮小するといひました所で今申上げたやうに紙切れになつてしまつて居るのであるから、どうすれば通貨を縮小することが出来るかと言ひますれば、外に方法はありませぬ、詰り財政を緊縮させて歳入を歳出より多くして、さうして詰り紙幣がどつさり出て居るといふことは政府からして、それだけ借金をして居るといふことゝ同じとでありますから、歳入を多く歳出に超過させて、それで其餘りある所のもので消して行く、償還して行くやうに或は帳消しにしてしまふやうに通貨を縮小させるといふより、一番好い方法はない。隨て今申上げたやうに屢々ブラツセルの財政會議に於て、それから或はゼノアの財政會議に於て、多くの政治家或は學者、實際家なにか言つて居る通りに、通貨をどうしても縮小しなければ、物價はどうしたつて下らない、それには通貨を縮小させるのには、先づ第一には財政を縮小させなければならぬ、さうしなければ物價は廉くならぬ。で其物價が廉くならぬと、財政を緊縮させるといふことになれば、自然國民の負擔といふものは、段々輕減して來ることになるから、さうすれば又物を拵へることが出来るやうになつて來る、上に申したやうに、即ち物の供給を多くさせるといふことが出来るのである、此点からいつて物の價は、廉くなつて來るといふ

ことになる。もう一つは國民の消費を抑へて行かなければいけない、是も分り切つたことである。即ち無闇に贅澤になつてしまふ。無闇に色々な物を使ふといふことになつて來れば、何時まで経つても物價は引下げる機會はないのであります。だから消費を抑へて行くこといふことを言つては語弊がありませんが、詰り無闇な詰らない所の消費は無くしてしまつて健全なる所の消費のみにしてしまふことにすれば、それで自然物價は下つて行く。又其議會の決議なにかにありますやうに、公債は打切らなければいかぬ、何故公債を打切らなければいかぬかといふと、公債を募集する、國民の方から致して金を取上げるといふことならば通貨は減るやうに一考へられますが、其實今日の所に於きましては公債を募集するといふと、今日に於て吾々が筆筒の中に持つて居る所の金なにかを出す氣遣ひはない、大体に於ては、銀行の手をして公債の募集に應ずるといふことになりませんが、計算は吾々の計算になるのであるけれども、結局廻り／＼と通貨を多く出さなければ、公債募集に應ずることが出來ないといふことになるのであつて、公債の募集といふことは、決して通貨を縮小させるといふことの效果があるものではございませぬで、却て通貨を膨脹させる方に導く、必ずしもさうだとは申しませぬけれども、さういふ傾向があるのでございしますから、隨て前申上げました様に萬國會議等に於ても、是非公債募集は打切らなければいけないものであるといふやうなことを決議いたして居ります譯であります。斯ういふやう

な譯で細かいことを申して居れば色々なことがございますが、結局物の方から物を廉くする或は通貨の方を引込まして廉くして行くといふこと、此両方から論究しなければいけないといふことであります。是の問題は直ぐに國內の問題となり、思想の問題にも物價問題が出て來るし、生活難だとか色々かましい問題になつて來て、御承知の通り向ふでも、色々な騒ぎが起つて居る譯であるから、どうしても物價問題の解決といふことをやらなければなりませんのみならず、物價が高いといふことになれば、勿論外國貿易なかに於ても、我國の貿易に於ても分る如くに物が高いといふことになれば、逆も輸出は出來ない、輸入は多くなりませんが輸出は出來ないといふことになり、どうしても物の引下に掛からなければならぬ。其結果方々の國は一生懸命になつて物價引下に力を盡したのであります。細かいことは申しませぬが、それは北米合衆國なかに於てもその報告なにかの厚いものが出て居りますが、管理制度に依つて、随分思切つて物價を引下げるといふことに就ては、銳意熱心にやつたものであります。英吉利も亦然り、佛蘭西も亦然り、獨逸も亦然り、何れの國に於ても一生懸命にやりました。それであるから前に申上げましたやうに、戦さが終ひまする時に於て、甚だ通貨が膨脹し又之に準じて物價が非常に高くなつて居りましたけれども、大分是は引下げることが出来るやうになつて參りました。それで多くの國に於ては大体から申しますると戦前の五割前後まで引下げて來ることが出来るやうな

つて参りました。もつと引下げることが出来るか出来ぬかといふことは、學者の間に於て大分議論があるのであります。で先程申上げましたやうに金の輸出といふことが、どん／＼出て居るのであつて、普通の形から言つて見ても、即ち三割や四割位といふものは、外の事情が同じであるならば、戦前に較べて今日に於ては高くなるといふことが當り前であつて、別に不健全なる状態であるといふ譯ではないのであるから、是より以外に引下げようといふとは、それは無理な注文である、五割位まで引下つて來て居るならば、先づ此邊で宜いものであるとしなければならぬといふ議論と、それではまだいけない、少くとも戦前の状態にまで引下げて來なければ、此經濟界を正しい形にするといふことは出來ないといふやうなことで、學者の間に於ても、やかましい議論を致して居るといふやうな状態であります。けれども此問題は方々の國で一生懸命にやりましたから、其位の所まで話を持つて參ることが出來たのであります。日本は御承知の通り物價調節といふことに就ては、一向力を盡さなかつた所の國であります。物價を引下げるといふことは、餘り人氣の宜い仕事ではないので、物を廉くしようといふことであるから、商賣人なにかの方から言へば、氣に入らないものであります。不景氣にしようといふのであるから隨て國民なり政治家なりが此問題といふものは、極めて重大なる意味のものであるといふことを痛切に感じて、どんなやうな犠牲を拂つても此事はしなければならぬといふことの大決心が付けばいざ知らず

さうでないといふと兎角やらないものである。我國何かはやらなかつたのでありますから未だに御案内の通り物價が高く問題は解決しないで居る、其点に於て向ふの方は、我國になにかよりはもつとえらい所まで物價が高くなつたのであるけれども、併しながら鋭意熱心に、之を能くしようといふ所に力を盡したものでありますから、今申上げましたやうな所で我國よりは假に病氣でいへば、先づ病氣の状態は餘し程宜くなつて居る、先づ回復に近い所まで漕付けて來て居るといふことが言へる譯であります。

ところが物價の状態はそんなことであります、次には爲替の方であります、是も甚だ厄介なのであります先程申上げましたやうに、甚だ混乱状態に陥つて、之を解決しようといふのには、貨幣そのものを解決しなければならぬ。言葉を換へていふならば、先づざつとした者からいへば金の回復といふことをやらなければいかぬ。金本位制度の回復といふことをやらなければならぬ。けれども此金本位の回復といふことがむづかしい。それであるから學者の間に於ては、そんな方に關係をしないで此問題を解決しようといふやうな議論も大分出て居ります。それで此貨幣の方に於て元來金だどが銀だどかいふやうなものを本位貨幣にして置くといふことが間違つて居るのであつて、紙幣にして置くのが宜いのだ。不換紙幣にして置いて決して悪いことではない、唯是が悪いといふのは無闇に紙幣が出て居るといふ

から例へば十億なら十億だけのものを出して宜いものを二十億も出して居る、二十五億も出して居るといふことになつて居るから、それだからいけないのだから、それは通貨を縮小して引込まさなければいけないけれども、必ずしも金本位制度にまでしななければならぬといふものではない、紙幣本位で澤山だといふやうな議論をして居る人にかゝあるのです。さうして唯さうでなく爲替の安定といふことをやつて行くやうに取計つて差支ないものだといふ、それをどうしてやつて行くのだといふと、是も色々な案が出て居ります。もう時がございませぬから細がいは申上げませぬが、或は方々の國からして金を出させて此に大きな國際的の銀行みたやうなものを拵へて、さうしてその所へ皆やれば、國際間に於て色々な貿易なにかにするのに、今日に於ては金であつたり銀であつたりして支拂をして居るけれども、紙切れだけでやつてしまつて、とゞの詰り或所までは帳面で消合ふ、それで足らぬ所は始めて金の出し入れといふことをするやうにする、一つの手形交換所みたやうなものを國際的に拵へて、それでやらせるのが宜いのであるといふやうな考もあつて、やり方は色々なやり方があるけれども、是は銀行や何かの所の仕事の問題になります、結局そんなやうなことで紙切れだけで消合ふことが出来るといふとにすれば、方々の國は何も一生懸命になつて金本位制度といふものを戦前の如くに回復しなくとも宜しいといふ考であります。それに色々な案が出て居るのでありますが、理窟からいひますと、さう

なれば甚だ望ましいことなのであります。成程國內に於て今日に於きましてはもう色々な金屬紙幣なにかを使はなくとも、御承知の通り小切手やら或は手形なにかで取引をすることが出来るといふ状態になつて居るのでありますから、もう一步進めば國際間に於きまして、信用の程度が高くなりさへすれば金屬なにかは使はなくとも紙切れだけで旨く行く、さうすれば爲替問題にかといふことは残るのでありませうけれども、併しながら極めて小さな所の問題になつてしまふ時期が到達するであらうと考へるが、悲しいかな唯今の所に於ては、さういふ所まで問題になつて居りませぬ。居りませぬからして詰りさういふ色々な議論といふものは一種の理想的の問題であるといふことだけになつてしまつて居るのであります。之を以て目下の爲替相場の此大動搖といふものを解決いたしました、それで安定を得せしむるといふことは到底出来ないといふことに、先づ今日普通の議論はなつて居るやうでございませぬ。それでありますからさうなつて來ると、又問題は逆轉して、どうしても普通の考に依て金本位といふものに回復しなければならぬといふことになるのです。さあ其金本位を回復しようといふことになれば一面に於ては出来るだけ通貨を縮小しなければいけません、今までのどつさりあるものに應ずるだけの兌換の事業に應ずるやうな場合に金を用意して掛かるといふことは、大變なことでありますから、それは逆も駄目である。又物價問題の解決からいつてもいけないのであつて、出来るだけ通貨は縮小すると

いふとに銳意熱心になるが是と同時に其國々に於て金を吸收する策を講じなければならぬといふことになるのであります。出来るだけ金を餘計に自分の國に寄せ集めなければならぬといふことになります。さうするとそれから續いて出て来る問題といふものは、所謂金の爭奪問題。各國皆争つて自分の方に金を取寄せようとする此方もごつこい出すまいとする。それであるから、金の爭奪問題といふことがやかましい問題になつて来るのであります。例へば北米合衆國に於ては前は金の輸出にかは自由にさせて居つた所のもが、ごつこい金がそんなに外國に出されて行つたら大變だと、金の輸出を禁止してしまつた。さうすると日本なかでは、それまでは亞米利加からして金ながゞ入つて居つた、だから喜んで居つた譯でありますが、北米合衆國の方で金の輸出は禁止してしまつて出さぬといふことになりますといふと、我國にかは金が這入つて来る道が大に少くなつてしまつた、殆ど途絶えてしまつたといふことになつて来る。さうするといふと今度は我國に於て色々な支拂なにかをする時に我國から金が出て行くといふ譯になる。出て行くやうになつて来るとは心配になる。我國にかは勿論兌換を停止も何も致して居りませぬ。戦さの時に於ては、大變金が集つたのであります。併しながら前申上げたやうに、亞米利加の方で金の輸出を止めて今度は自分の方で這入る方が途絶えてしまつて殆ど出るばかりであるといふことになると、こいつは氣味が悪くなつて来て我國に於て即ち金の輸出禁止問題といふものが起

つて來た。斯ういふやうなことで是は詰り方々の國の金の取合ひといふことの一つの端の問題に外ならぬのであります。ところで御承知の通り我國なにかに於ては、外國に金を持つて居る、所謂在外資金なるものがある。又同時に我國々内に於ても金を持つて居るのであるが、それで御案内の通り、我國なにかは丁度戦さの終りました後といふものは、外國貿易は輸入超過になつてしまつた。外國貿易以外に實際貸借即ち貸借は幾らか我國の方が宜いのであつて、一億近くといふものは、近頃に至るまで宜かつたのであります。割合に有利であつたのでありましたが、それから大正十年の終り頃までといふものは金は幾らかづゝ入つて來て居つた。入つて居りました所がです、一方に於て御承知の通り外國貿易といふものは、輸入超過の勢ひが甚だしいのであるから、それで在外資金——外國にあります資金といふものは殆ど無くなつてしまつたといふ譯です。國內の方からは殆ど出さぬといつても宜い、絶對ではありませぬけれども殆ど出さずにやつて居るのです。だから金が無くなつてしまふ。金が無くなつてしまつて、今度は一方に於て金の輸出を禁じて居るといふことになつて居るから、さうすれば今まではさういふ問題は無かつたのであります。が、今度我國の貨幣の價といふものは下つて來るといふことは、當然のことであります。それでありますから前申上げましたやうに、四十九弗が四十九弗以下になり、或は四十弗になるといふ結果を段々出して來るのであります。それであるから、我國の場合はどうかして此輸

入超過といふことの勢ひを抑へることが出来たならば、兎に角我國々内に於て大きな金を持つて居るのだし、爲替相場の變調になつて居るのが、嫌やだといふならば金の輸出禁止を解いてしまへば、直ぐ戻るので、全く無いのでありませぬ。併しながら新聞なにかで御承知の通り、此議論がやかましくなつて居るのは之を解いてしまふと爲替相場は戻る、戻るけれども折角虎の子のやうにして居るものがどの位出て行くか、或人は四億位出れば宜いと申しますが、今十五六億あるのでありますが、其中に於て四億出て行つてしまつたならば、それで落付くといふ觀察が、それをやつて見てさう行くやら行かぬやらそれは分りませぬから、それで心配なのです。もつと出て行くといふことになりますと、即ち兌換制度といふものを止めてしまつた又方々の國のやうに、不換紙幣國にならなければならぬとも限らぬのであります。それが政府なにかから言ひますれば心配ですから、さう容易く金の輸出の禁を解かうとしないといふ其處に理窟が附くのであります。其問題を茲で私は申上げようといふものではありませぬが、今申上げたやうな譯で方々の國々に於て、金の爭奪戦といふものが今といふよりはもつと前から、盛んに起つて來て居るのであります。是は已むを得ざることであつて、それで或所までは競争であるから、仕方がありませぬと思ひますが、斯の如きことをやつて居る所以のものは、結局何の爲めかといふと、即ち金本位制度を回復しようとして居るのであります。此金本位制度を回復してしまはなければ、即ち爲替

相場の安定といふことが先づ得られない。是は今のゼノアの萬國會議などに於ても多くの人の意見は一致して居る。勿論學者の間に於きましては先きにも申し上げましたやうに其必要はないといふことの議論はありますが、併しながら多くの國々の考は、頻りに金本位制度といふものを回復して戦前の状態のやうに矢張り金を土台としての國になることでもあります。其事が出来る曉に於ては、物價問題は大体に於て向ふでは、形が付いて居ると言つても宜いのです。或はもつと健全なる状態に持つて行くことが出来るでありませうし、又金本位制度といふものを回復することが出来た曉に於ては爲替相場の安定といふことの目的を達することが出来るのです。併しながらそれが出来ない限りに於ては、尙ほ暫くの間といふものは、爲替相場の動搖は免れることは出来るものではありませぬ。又安定を得るといふこと出来るものでもないといふことを申上げるのであります。それで今大体申上げましたが、此問題の經緯の輪廓であります。併し實はお話しようと思ひましたことは、その輪廓の中に於て方々の國が色々な事を試みて居る、其若干なりとも申上げて見たい積りで若干取調べました譯でございましたが、時がございませぬから唯此問題がどういふやうな徑路を取つて居るものであるかといふことを、極ざつと申上げた次第であります。

述 懐

松 本 源 祐

神のくに君のくになる皇くにのみ民となりて生れ出てしな
朝日照り夕日かゞやく目の本に生れ出てしを誇りなりける
千早振神のみ末と思ほへはたふさかりけりおろかなる身も
あな畏思へはいさゝ苦しかりいきながらして祀られし身は
老ぬれさ心はわかくすこやかに我がすめらきの道に盡さむ